

## ～ちょっと気になる感染症～



### ロタウイルス感染症について

#### ◆ロタウイルス感染症とは

日本では主に冬から初春にかけて、およそ6か月～2歳の乳幼児を中心に発症するウイルス性消化管感染症です。多くの下痢性ウイルスが関与するなかでも**ロタウイルスによるものは重症度が高く注意が必要です。**

#### ◆症状について

病初期に発熱・嘔気・嘔吐がみられ、2日目以降嘔吐回数は減り、血便のない下痢が始まります。

潜伏期間は2～4日。以前は冬季白色下痢症と言われたように白色の下痢便が特徴でしたが、最近では半数に見られる程度です。

およそ3～7日程度で治癒しますが、胃腸炎に伴う脱水、無熱性けいれん、脳症、肝機能障害、腎不全等の合併症を起こすことがあり、注意が必要です。1日10回以上の下痢が2日以上続いたら脱水を起こしている可能性が高いため、適切に受診をしましょう。

#### ◆感染経路・予防について

糞口感染です。感染者の便には多量のウイルスが排泄されているため、オムツの適切な処理、石けんと流水での正しい手洗いで二次感染を予防しましょう。

衣類等が便や嘔吐物で汚染した場合には次亜塩素酸ナトリウム消毒液で消毒をして下さい。予防にはワクチン接種が有効です。令和2年から定期接種に位置付けられています。



#### ◆ロタウイルスワクチンについて

○ワクチンの種類 経口生ワクチン

#### ○接種の注意点

ワクチンは2種類（2回投与を受けるものと3回投与を受けるもの）あり、どちらも同様の効果がありますが、最初に受けたワクチンと同じ種類のワクチンで接種を完了してください。また、どちらのワクチンも、初回接種を出生14週6日後までにします。

ワクチン名	ロタリックス(1価)	ロタテック(5価)
定期接種対象	出生6週0日後から24週0日後まで	出生6週0日後から32週0日後まで
接種回数	2回接種 (27日以上の間隔をあける)	3回接種 (27日以上の間隔をあける)

※定期接種対象年齢と、接種可能な年齢は一緒です。対象年齢から外れると、任意接種(有料)でも接種できません。スケジュール管理に気を付けましょう。

#### ○接種後は「腸重積症」に気をつけましょう

腸重積症は腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気で、速やかな治療が必要です。ロタウイルスワクチンの接種に関わらず、3か月から2歳くらいまでの赤ちゃんがかかりやすい病気です。しかし、**ロタウイルスワクチンの接種後1～2週間くらいまでの間には、腸重積症のリスクが通常より高まると報告されています。**「突然激しく泣く」「機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す」「嘔吐(おうと)する」「血便がでる」「ぐったりして顔色が悪い」などの様子がひとつでも見られる時は、医療機関を受診しましょう。